

# 専修大学体育会バドミントン部創部

## 50周年記念挨拶

専修大学体育会バドミントン部 OB 会

専羽会会長 武田博之

本来ならば昨年（平成23年5月）に予定しておりました創部50周年記念を、昨年3月11日起きた東日本大震災に見舞われ、発起人等関係者で協議して一年延期と致しました。被災した方には、この場をお借りしまして、御見舞申し上げます。

この度の、専修大学体育会バドミントン部創部50周年にあたりご挨拶申し上げます。昭和36年に新美一雄・小木曾忠孝先輩により同好会としてスタートし昭和37年春に男子部が関東学生バドミントン連盟の5部に加盟致しました。女子部は昭和50年に関東学生連盟の11部に加盟し連戦連勝で早くも56年には1部リーグに入り、59年に男子がその後継に続き1部リーグ昇格を果たしました。男子部は部員の不足から、一時休眠を余儀なくされましたが、平成14年再度関東学生連盟に加盟し現在3部リーグで活躍して上位リーグを目指しています。

半世紀の中で成瀬誠前監督は、35年間もの長い間専修大学バドミントン部一筋に頑張ってきました。現在は体調を崩していますが一番貢献をされた方です。もう1人忘れてならない方が、故森田健吾元OB会長です。昭和47年より、平成16年までOB会長として物心両面で長い間支援して頂きました。この両名が、いなければ現在のバドミントン部は存在していないといっても過言ではないと思われます。

今では、専修大学バドミントン部の校友たちはナショナルチームで活躍している人や、社会人リーグで頑張っている人がいます。今後は未だなしえていない関東学生1部リーグ戦優勝及び、全日本学生選手権団体優勝を目指して現役学生諸君の奮起に期待し、また我々OB・OGも応援していきます。

[戻る](#)

## 体育会バドミントン部の創部50周年を祝して



専修大学理事長・学長  
法学博士 日高義博

専修大学体育会バドミントン部が創部50周年という記念すべき節目の年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

本学の体育会バドミントン部は、昭和36（1961）年にまず同好会としてスタートいたしました。関東大学バドミントン連盟に加盟し、当初は男女共に最下部からの登録出場でありましたが、それぞれの目覚ましい躍進により昭和55（1980）年に女子がひと足先に関東大学リーグの1部入りし、昭和59（1984）年に男子が念願の1部入りを果たしました。その後、男子の部員数不足による一時休眠という苦難もありましたが、平成14（2002）年に復活し、再度上部リーグ入りをめざして奮闘しております。また、女子は現在に至るまでの長期にわたり、1部で大きな実績を残しております。長い歴史と伝統のある本学の体育会各部の中でも、バドミントン部は今日まで弛まぬ努力を続けてきております。これからもバドミントン部の栄えある伝統が受け継がれ、大いに学生に自信と誇りを持たしめる活動を繰り広げられますことを期待しております。

専修大学は、21世紀ビジョンとして「社会知性の開発」を掲げております。この創部50周年記念誌が、本学バドミントン部からの「知の発信」として、在学生諸君はもとより、本学教職員や卒業生にも良き指針を与えてくれるものと考えております。

これまで本学体育会バドミントン部を支えてこられた関係各位の皆様には、今後も学生諸君にご指導いただくと共に、本学に対するご支援とご協力をお願いいたしまして、発刊のお慶びの言葉といたします。

戻る

## 祝バドミントン部創部50周年



専修大学体育部長  
加藤茂夫

バドミントン部創部50周年誠におめでとうございます。長い歴史を育てこられた多くの先輩や関係する皆様方に体育部長としてお礼申し上げますとともにお祝いの声を高らかに言わせていただきます。

昭和36年に同好会として産声を上げ、翌年の昭和37年に関東大学バドミントン部に加盟してから半世紀になります。当初は練習場もなく、小学校、中学校等の運動場を借りての活動であったようです。男子は5部から女子は3部からスタートしたと伺っております。男子は参加校の増加から6部にもなる大所帯となり6部に落ちたこともあると聞きました。大変な激戦であったようです。さまざまな苦勞を乗り越えて、今日の輝かしい伝統が築かれたものと思います。今日その先人の思い・夢・志が実りは艱難辛苦を乗り越え、昭55年には女子が関東大学リーグの1部入りを果たし、1部に定着している名門となりました。大変うれしい限りです。昭和59年には男子も1部への昇格を果たしました。男子は現在3部で頑張っており、上位リーグ入りをめざして努力している状況です。

これからも大いに研鑽を積み、輝かしい歴史と伝統を築き、更なる成果をあげられる事を期待してやみません。部長、監督をはじめ関係する皆様方が高い志を持ち、常に前に向かってやるぞとの精神をもって全員の心をまとめていただければ幸いです。専修大学バドミントン部が日本の大学においてカレッジスポーツの見本となることを念願してやみません。

[戻る](#)